

※ 募集要項の請求方法

募集要項の請求は、大学宛封筒の表に「医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻【博士前期課程】募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒を以下の請求先に郵送して請求してください。

返信用封筒

標準角形 2 号（33 cm×24 cm）に 250 円分の切手を貼り、配達先の郵便番号・住所・氏名を明記したもの。

※速達の場合は、上記郵便料金に速達料金を加算してください。

請 求 先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部事務室学務係
電話 025-227-2798

郵便料金の変更について

消費税率の改定に伴い、2019年10月1日（火）から郵便料金に変更となります。

郵便料金の変更に伴い、郵便切手を貼る必要がある返信用封筒については、**384円分**を貼って提出してください。

現行料金 (本募集要項に記載)	→	新料金 (10月1日より)
372円		384円

令和2年度（令和2年4月入学）

新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻【博士前期課程】

学 生 募 集 要 項

〔 一 般 入 試 〕
〔 社 会 人 特 別 入 試 〕

新潟大学大学院医歯学総合研究科

◇入試日程

	令和2年4月入学 <第1次募集>	令和2年4月入学 <第2次募集>
資格審査申請期限 (該当者のみ)	令和元年10月17日(木)【必着】	令和元年12月13日(金)【必着】
出願期間	令和元年 11月11日(月)~11月14日(木)【必着】	令和2年 1月14日(火)~1月16日(木)【必着】
試験日	令和元年12月11日(水)	令和2年2月5日(水)
合格発表	令和2年1月22日(水)	令和2年3月13日(金)
入学手続	令和2年 2月28日(金)~3月3日(火)【必着】	令和2年 3月23日(月)~3月24日(火)【必着】

◇試験会場

新潟大学歯学部
新潟市中央区学校町通2番町5274番地

◇入試事務

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025) 227-2798・2799

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページをご覧ください。

新潟大学ホームページ：<https://www.niigata-u.ac.jp/>

目 次

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

I. 令和2年度入試（第1次募集・第2次募集）

○ 一般入試・社会人特別入試

1. 専攻及び募集人員 1
2. 出願資格 1
3. 出願手続 2
4. 選抜方法 4
5. 合格者の発表及び入学手続 4
6. 授業料 5
7. その他 5

II. 出願資格の確認 7

III. 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）入学案内・11

IV. 授業科目の概要 13

V. 本研究科所定用紙（出願書類等）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育理念・目標

理念

口腔を中心とした生命医療科学を基盤とし、保健医療福祉制度を含む実践的な社会福祉学領域との統合的・学際的研究を推進するとともに、これらの分野における高度かつ統合的な学識と技術力を持つ高度専門職業人を養成することにより、地域社会および国際社会における健康水準と生活の質の向上に寄与することを基本理念とする。

目標

以下に示す人材の養成を通じ、地域社会および国際社会における福祉の向上に貢献することを目標とする。

- ① 食べることを中心とした口腔機能の維持向上を基点に、総合的な口腔保健・医療福祉サービスの提供およびその質の向上に関係者の有機的連携を図りつつ、指導的役割を果たせる実践的
高度専門職業人を養成する。
- ② 食べる機能（摂食嚥下機能）を中心とした口腔生命医療科学と実践的な社会福祉学領域との
統合的・学際的研究を推進できる教育・研究者として求められる基本的資質を身につけた人材
を養成する。

求める学生像

口腔保健・医療福祉分野に従事する専門家として求められる基本的な教養とコミュニケーション能力などの資質とともに、専門科目の履修に必要な基礎学力を有したうえで、生命科学一般及び保健医療福祉に関する基本的理解に立脚した、専門分野への深い関心と高い目的意識を持ち合わせた学生を求める。

入学者選抜方針

口腔を中心とした生命医療科学と実践的な社会福祉学領域に対する高い目的意識と理解を持ち、研究に必要な語学力を有する人を選抜する。

I. 令和2年度入試

(第1次募集・第2次募集)

一般入試

社会人特別入試

- 令和2年4月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）の学生を、次のとおり募集します。

1. 専攻及び募集人員

口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）	第1次募集	6人
	第2次募集	若干人

募集人員の中には、一般入試及び社会人特別入試を含みます。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

なお、社会人特別入試に該当する者とは、原則として入学時に保健医療福祉施設、教育研究機関、行政機関等において、3年以上相当の保健医療福祉に関する実務経験（通算可）を有する者で、次の各号のいずれかに該当し、入学後もその身分を継続するものとする。

また、社会人特別入試に関して不明な点がある場合は「3（3）出願書類等提出先」に問い合わせてください。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（修業年限4年以上）を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 令和2年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに22歳に達するもの

(注1) 出願資格(3)、(4)及び(9)～(11)のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、7ページの「Ⅱ. 出願資格の確認」を参照の上、資格審査申請期限までに申請書類を提出してください。

(注2) 出願資格(6)に該当する者は、新潟大学歯学部学務係((025) 227-2798)へ問い合わせの上、同係の指示する書類を提出してください。

3. 出願手続

(1) 出願期間

第1次募集	令和元年11月11日(月)～11月14日(木)【必着】
第2次募集	令和2年1月14日(火)～1月16日(木)【必着】

(注1) 持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。

(注2) 出願に際しては、あらかじめ希望する研究テーマ等について確認を行うため、下記連絡先教員のいずれかに問い合わせのうえ、出願してください。

〈問い合わせ先〉

福祉学領域 大内 章嗣 ohuchi@dent.niigata-u.ac.jp (025) 227-0551
 口腔保健学領域 葭原 明弘 akihiro@dent.niigata-u.ac.jp (025) 227-0906

(2) 出願書類等

入学志願者は、本要項に添付の封筒(「大学院博士前期課程出願書類在中」)に、下記書類等を入れ、出願期間中に持参又は書留速達郵便にて郵送してください。

(①②⑤⑥⑧⑩⑫⑬は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①入学志願票 ②受験票・写真票	裏面(履歴書)も必ず記入してください。 所定箇所に写真を貼ってください。(出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。) なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実に貼ってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
③卒業証明書 又は卒業見込証明書	出身大学(学部)長が作成したものとします。 中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。 (本学歯学部卒業(見込み)者及び出願資格の確認を行った者は、提出する必要はありません。)
④成績証明書	出身大学(学部)長が作成し厳封したものとします。 (本学歯学部卒業(見込み)者及び出願資格の確認を行った者は、提出する必要はありません。)
⑤志望理由書	『「志望理由書」「研究計画書」の書き方について』を参照し、必要事項を記入してください。
⑥研究計画書	
⑦在留カードの写し又は パスポートの写し	外国人志願者のみ必要です。在留カードの写し(裏表両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑧受験承諾書	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。

⑨学位授与証明書	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑩短期大学又は高等専門学校 の専攻科の修了 (見込み) 証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書 (又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書)	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。(1 ページの「2. 出願資格」(2) の、授与される見込みの者) 専攻科の修了(見込み) 証明書及び学位授与申請予定である旨の証明書は、出身(在籍) 短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑪返信用封筒	封筒には、志願者の住所・氏名及び郵便番号を明記してください。 「入学試験関係書類在中」の小封筒には郵便切手 372 円分を貼ってください。 「合格通知書在中」封筒及び「入学手続書類在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
⑫検定料 30,000 円	本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士前期課程) 入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、 必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、下記の期間内に必ず行ってください。 (※土・日曜日・祝日の振込みはできません。) 第1次募集 令和元年 11 月 5 日(火)～11 月 14 日(木) [15 時 00 分] 第2次募集 令和 2 年 1 月 7 日(火)～1 月 16 日(木) [15 時 00 分] ③ ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。
⑬検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学志願票の所定欄に貼ってください。 (※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)

(注1) 出願書類等提出後は、記載事項の変更は認めません。

(注2) 出願書類⑧の承諾書の印は、個人印・社印ではなく、社長・支店長等の、職を表す印に限ります。

(注3) ⑪について、郵便料金が改定となった場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

(3) 出願書類等提出先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部学務係 電話 (025) 227-2798・2799

(4) 受験票の発送

第1次募集は令和元年 11 月 21 日(木) 頃に、第2次募集は令和 2 年 1 月 23 日(木) 頃に発送します。

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類により行います。

(1) 一般入試

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
第1次募集 令和元年12月11日(水)	13:00~14:30	外国語(英語)	新潟大学歯学部
第2次募集 令和2年2月5日(水)	15:00~	口 述 試 験	

* 外国語(英語)については、本専攻の履修に必要な基本的英文読解能力を問うものです。辞書の持ち込みは可とします。ただし、電子辞書及び辞典は不可とします。口述試験については、本専攻の関連分野についての知識を問うものです。

(2) 社会人特別入試

期 日	時 間	科 目 等	試 験 場
第1次募集 令和元年12月11日(水)	13:00~15:00	口 述 試 験	新潟大学歯学部
第2次募集 令和2年2月5日(水)			

* 口述試験については、本専攻の関連分野についての知識を問うとともに、外国語(英語)の学力も試験します。

5. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表

第1次募集	令和2年1月22日(水)	午前10時	歯学部正面玄関前
第2次募集	令和2年3月13日(金)	午前10時	歯学部正面玄関前

上記日時に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者へは郵送により合格通知書等を送付します。

なお、電話での合否に関する問い合わせには、一切応じません。

(2) 入学手続

入学手続の概要は、次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

① 入学手続期間

第1次募集	令和2年2月28日(金)~3月3日(火)【必着】
第2次募集	令和2年3月23日(月)~3月24日(火)【必着】

② 入学手続時に要する経費

入学金 282,000円【予定額】

(注) 入学金免除を希望する者は、入学金を納付しないでください。

6. 授業料

年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

（注1） 授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただく予定です。

（注2） 授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3） 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

7. その他

（1） 出願書類提出後は，記載事項の変更は認めません。

（2） 障がいをもつ者で，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，出願前に新潟大学歯学部学務係（025）227-2798）に相談してください。

（3） 既納の検定料及び提出された出願書類等は返還しません。

ただし，検定料振込み後，出願期間内に出願書類等を提出しなかった場合は，当該検定料（30,000 円）を返還します。詳細は，本学ホームページ（<https://www.niigata-u.ac.jp/>）の「入学を希望する方」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお，納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は，財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

返還請求書送付先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学財務部財務管理課収入係
電話（025）262-6053

Ⅱ. 出願資格の確認

「2. 出願資格の（3）、（4）及び（9）～（11）」のいずれかに該当する者については、次により出願資格の確認を受けてから出願してください。

1 提出書類等

次ページ以降の「各出願資格について」を参照してください。

なお、外国語で作成された書類には、日本語の訳文を必ず添付してください。

2 提出方法

出願資格審査の申請書類は、持参（午前8時30分から午後5時までの、土曜日、日曜日及び祝日を除く。）又は郵送により送付してください。

3 提出期限

第1次募集 令和元年10月17日（木）【必着】

第2次募集 令和元年12月13日（金）【必着】

4 出願資格審査

出願資格審査については、提出された申請書類により行います。

5 出願資格審査結果の通知

出願資格審査の結果は、出願期間開始前までに、本人あて郵送により通知します。出願資格を認定された申請者は、出願手続を行ってください。

6 提出先

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学歯学部学務係
電話 (025)227-2798・2799

○各出願資格について

1. 「出願資格（3），（4）」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	最終出身大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
③ 成績証明書	
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	大学等卒業（修了）後に医療機関，研究機関等における業績・研究等がある場合は，本要項に添付の所定用紙により，詳細に記入してください。
⑤ 在留カードの写し又はパス ポートの写し (外国人志願者のみ)	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑥ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所・氏名及び郵便番号を明記し，郵便切手372円分を貼ってください。

※1 ②，③については，本物（オリジナル）を提出し，必ず和訳文を添付してください。

※2 ⑥について，郵便料金が改定となった場合は，改定後の料金分の切手を貼ってください。

2. 「出願資格（9）」により出願する場合の，審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 成績証明書	出身大学の学長（学部長）及び在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。
③ 在学証明書	在学大学院の研究科長が発行したものを提出してください。 なお，本学大学院在学者は不要です。
④ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所・氏名及び郵便番号を明記し，郵便切手372円分を貼ってください。

※ ④について，郵便料金が改定となった場合は，改定後の料金分の切手を貼ってください。

3. 「出願資格（10）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 在学証明書	現在も在学中の者のみ、在学大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。 なお、本学在学者は不要です。
③ 成績証明書	在学（出身）大学の学長（学部長）が発行したものを提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	業績・研究等がある場合は、本要項に添付の所定用紙により提出してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所・氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

※1 本出願資格で入学する者は、当該大学の学部を退学することになります。従って種々の国家試験等の受験資格で大学の学部を卒業することを要件としているものについては、受験資格が得られないことになります。

※2 ⑤について、郵便料金が改定となった場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

4. 「出願資格（11）」により出願する場合の、審査に必要な書類等

提出書類等	摘 要
① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙を使用してください。
② 卒業（修了）証明書	最終出身学校長が発行したものとしします。短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
③ 成績証明書	最終出身学校長が発行したものとしします。短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
④ 研究業績調書及び 研究経過報告書	学校等卒業（修了）後に医療機関、研究機関等における業績・研究等（短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は、専攻科等における業績、研究状況等を含む。）がある場合は、本要項の所定用紙により、詳細に記入してください。 なお、論文又は研究発表等がある場合は、コピー又は別刷を添付してください。
⑤ 返信用封筒	封筒（長形3号）に申請者の住所・氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手372円分を貼ってください。

※ ⑤について、郵便料金が改定となった場合は、改定後の料金分の切手を貼ってください。

Ⅲ. 新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）入学案内

新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）入学案内

1. 履修方法及び学位授与

共通基礎必修科目から10単位、専門選択科目から20単位以上修得しなければなりません。
本研究科に2年以上在学して、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（口腔保健福祉学）の学位を授与します。

2. 入学料免除等

入学する学生で下記のいずれかに該当し、入学手続期間内に所定の申請を行った者について、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、入学料徴収猶予（延納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により、入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡し、または本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- (3) 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

3. 授業料免除等

下記のいずれかに該当する者のうち、入学後、所定の期間内に申請を行った者について、選考の上、各期ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

また、授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

- (1) 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 授業料の当該期の納期前6ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）又は納期中に、学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合
- (3) 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

4. 奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（令和元年度の場合）

第一種（利息の無いタイプ） 50,000円, 88,000円から選択

第二種（利息が付くタイプ） 5万円, 8万円, 10万円, 13万円, 15万円から選択

5. 教育方法の特例〔大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例〕による教育について

医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において活躍中の社会人が本研究科で学ぶ場合，2年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが，このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで，このような社会人学生に対しては，大学院設置基準第14条の「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき，教育方法の特例を実施します。

この特例により，学生は，それぞれの研究テーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の授業形態のほか，夜間講義や週末又は夏期等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ，修士論文を作成することができます。

6. 長期にわたる教育課程の履修について

この制度は，学生が職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（2年）を超えて3年又は4年にわたり計画的に教育課程を履修し，修了することができる制度です。

なお，申請が認められた場合の授業料については，学生の負担軽減を図る観点から，標準修業年限の授業料総額を希望する在学年限で分割して納めることとなります。

7. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び④これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，合格者のみ入学手続関係（入学料，授業料等），教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

なお，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

IV. 授業科目の概要

授 業 科 目 の 概 要

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	
共通基礎必修科目 (10単位)	口腔保健福祉学研究論Ⅰ	「食べること」を基点とした口腔保健全般に渡る基礎的な知識および現状と動向について、最新の研究成果やトピックも交えながら講義する。また、口腔保健・医療福祉分野における研究・調査手法や分析法など、研究を遂行するにあたって必要となる基本知識を体系的なコースワークにより学修する。 (オムニバス方式／全15回)	
	口腔保健福祉学研究論Ⅱ	「食べること」を基点とした口腔保健・医療福祉全般に渡る基礎的な知識および現状と動向について、最新の研究成果やトピックも交えながら講義する。また、口腔保健・医療福祉分野における研究・調査手法や分析法など、研究を遂行するにあたって必要となる基本知識を体系的なコースワークにより学修する。 (オムニバス方式／全15回)	
	生命医療科学総論	口腔の健康と全身の健康の関係、全身管理に必要な基本知識および生命医療倫理を含め、生命医療科学を取り巻く背景、現状と課題、今後の動向について、最新の研究成果などを踏まえながらオムニバス形式で講義あるいはレポート課題を課する。 (オムニバス方式／全15回)	
	医療福祉援助学総論	口腔保健・医療福祉援助を行ううえで必要となる関連諸制度に関する講義を行うとともに、対象者のアセスメントや直接援助技術、間接援助技術などの専門援助技術の基本的内容について演習を交えた授業を行う。 (オムニバス方式／全15回)	
	専門英文読解	口腔保健福祉分野に関連した英語論文を題材に、個別的なコースワークにより専門用語・表現を中心に英語論文読解力の習熟を図る。	
専門選択科目 (20単位)	口腔保健推進学系	一般口腔保健管理学Ⅰ	広く一般人を対象としたう蝕、歯周病などの口腔疾患の予防・治療・リハビリテーションに関する最新の知識・技術を教授すると共に、う蝕、歯周病を中心とした口腔疾患の予防管理に関連する最新の研究成果を交えて当該分野における研究デザイン、解析技法等について教授する。
		一般口腔保健管理学Ⅱ	歯周病・う蝕を中心とした口腔疾患の予防管理に関して、その病因およびリスクファクターの分析、予防管理法とその効果の評価について、医歯学総合病院等において実習を行う。
		特殊口腔保健管理学Ⅰ	障害児・者、高齢者、有病者、要介護者等における口腔疾患の特性およびその予防・治療・リハビリテーションに関する知識・技術を教授する。
		特殊口腔保健管理学Ⅱ	代表的な口腔外科疾患について、その病因・病態と治療に関して、口腔外科外来・病棟での患者診療を通して、症例に基づいて学習する。また、全身疾患を有する患者の歯科治療ならびに患者管理・指導について実習を行う。
		摂食嚥下機能評価支援学	摂食嚥下障害の評価法、訓練法についてより専門的な講義を行うとともに、摂食嚥下障害に関連する研究成果を交えて当該分野における研究デザイン、解析技法等について解説するとともに、医歯学総合病院等における摂食嚥下障害者の評価・管理法に関する実習を行う。

専門選択科目	口腔保健推進学系	口腔保健の疫学と統計	口腔保健に関連した疫学研究について理解し実践できるようになるため、そのデザイン、対象の設定、それに対応した統計学的な解析方法について講義と演習を行う。
		口腔健康教育入門	健康教育について、行動科学の理論やモデル、行動変容、自己効力感に関して最近の研究やトピックスを交えて学習する。健康教育としての口腔保健活動を行うために、口腔保健行動や行動変容の支援等についての検討を行う。
		地域歯科保健活動	生活習慣病と歯科疾患の関係について疫学的な視点から整理する。また、ポピュレーションストラテジとハイリスクストラテジの違いを理解し、さらに、都道府県や市町村で実際に実施されている各ライフステージごとの地域歯科保健活動を評価しながら、あるべき姿について検討を加える。
		口腔保健活動展開論	医療・行政・地域・教育等様々な分野（領域）において、歯科衛生士として社会のニーズに対応した口腔保健活動を実践するために、口腔保健活動の質（リスクマネジメントを含む）およびその効果・効率の評価と臨床実践能力を構築するための理論について学び、現状における課題を明らかにするとともに、口腔保健活動の実践に繋げる。
		口腔保健推進学特別研究	他の専門必修科目の習得を進めるなかで、口腔保健学に関する研究テーマを設定し、関連文献の調査、研究計画・研究手法の設定、分析法等の指導を段階的に行いながら、研究フィールドに応じた実践研究を通じて、得られた研究結果を分析・考察し、その成果を発表するとともに、最終的に修士論文を完成させる。
医療福祉援助学系	保健福祉計画演習	保健医療福祉の分野における各種計画の社会的背景や意味を確認したうえで、各自治体が策定・公表している各種計画の内容及び策定・実施・評価の各段階についての分析を行うとともに、人口構造、疾病構造などその自治体が置かれている基礎的な条件を踏まえ、各自治体に固有な課題を抽出し、具体的な改善の方向性などについて検討を行う。	
	口腔保健医療福祉援助論	「臨床社会学」とも称されるナラティブ論の始点である構築主義（社会構成主義）の社会学を概括的に理解し、さらに、主に高齢者・障害者に対するソーシャルワークの成立と展開の過程について、実践事例の検討を通して構築主義の視点から検討する。	
	口腔保健医療福祉制度	行政機関・各種団体からの統計調査や報告書を題材に、保健医療福祉制度の現状・課題について学習するとともに、各保健医療福祉施策における口腔保健医療福祉活動の位置づけおよび今後の在り方について検討を行う。	
	医療福祉援助技術論	要介護高齢者および施設入所障害児（者）を対象とした口腔保健医療福祉活動の実践について、学外施設における実習を行い、そこで行われているアセスメント・援助技法について評価・検討を行う。	
	口腔医療福祉政策学	医療政策と福祉政策の連携構築に必要な事項について行政・従事者・利用者等様々な視点からの講義・演習を行うとともに、「食べる」という口腔領域における基本的事項について各種制度、他領域での研究を探索し演習を行う。	
	地域福祉活動	地域福祉をめぐる政策・制度が常に変化し続けている中で、インタープロフェッショナルワークを担う高度専門職業従事者に必要な「地域社会・コミュニティ」の概念と理論、「地域福祉の主体・対象」の現状と課題そして「地域福祉の実践」の理論と方向性について演習形式を中心として学んでいく。	
	医療福祉援助学特別研究	他の専門必修科目の習得を進めるなかで、口腔医療福祉学に関する研究テーマを設定し、関連文献の調査、研究計画・研究手法の設定、分析法等の指導を段階的に行いながら、研究フィールドに応じた実践研究を通じて、得られた研究結果を分析・考察し、その成果を発表するとともに、最終的に修士論文を完成させる。	

V. 本研究科所定用紙（出願書類等）

令和2年度
新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻(博士前期課程)
入学志願票

募集 区分	<input type="checkbox"/> 第1次募集	<input type="checkbox"/> 一般入試
	<input type="checkbox"/> 第2次募集	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試

※受験番号	
-------	--

(いずれかをチェックしてください)

フリガナ		性別	
氏名		男・女	
生年月日		年齢	
昭和 平成		歳	
出 願 資 格	大学	年 月	大学 学部 学科 〔中退・卒業・卒業見込〕
	大学院	年 月	大学大学院 研究科 課程 〔中退・修了・修了見込〕
	その他		

現住所	〒
	電話
緊急連絡先	〒
	電話

(記入上の注意)

- 黒のボールペンを用い、楷書で記入してください。
- 履歴事項を裏面に記入してください。
- ※印欄は記入しないでください。
- 年齢は、令和2年4月1日現在の満年齢を記入してください。

(裏面記入欄あり)

検定料納付証明書 (新潟大学提出用) 貼付欄 ○金融機関の窓口で受領した検定料納付証明書(新潟大学提出用)を貼ってください。 (※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
--

切り離さないでください

令和2年度
新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻(博士前期課程)

受 験 票

<input type="checkbox"/> 第1次募集	<input type="checkbox"/> 一般入試	(いずれかをチェック) してください)
<input type="checkbox"/> 第2次募集	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試	

※受験番号		性別
フリガナ		男・女
氏名		
生年月日	昭和・平成	年 月 日生
写真貼付 写真は上半身、無帽、正面向きとし、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを全面糊付けして貼ってください。 (縦4cm×横3cm)		

切り離さないでください

×

令和2年度
新潟大学大学院医歯学総合研究科
口腔生命福祉学専攻(博士前期課程)

写 真 票

<input type="checkbox"/> 第1次募集	<input type="checkbox"/> 一般入試	(いずれかをチェック) してください)
<input type="checkbox"/> 第2次募集	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試	

※受験番号		性別
フリガナ		男・女
氏名		
生年月日	昭和・平成	年 月 日生
写真貼付 受験票の写真と同じものを貼ってください。		

切り離さないでください

履 歴 書

区 分	年・月・日	事 項
学 歴 (高等学校卒業から記入)	. .	高等学校 卒業
	. .	大学 学部 入学
	. .	大学 学部 卒業・卒業見込
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
職 歴	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
	. .	
資 格	. .	
	. .	
賞 罰	. .	
	. .	

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

志 願 者 氏 名



「振込依頼書」(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士前期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)

留意事項

- 下部の「振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士前期課程)入学試験検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入のうえ、金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で所定の検定料を振り込んでください。
なお、A T M (現金自動預払機)での振込みはできません。
- 振込み手続後、金融機関の窓口から返却された「振込金及び手数料領収書(志願者保存)」及び「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」は金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。
- 「振込金及び手数料領収書(志願者保存)」は、大切に保管しておいてください。
- 「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」は、入学志願書の所定欄に必ず貼ってください。
- 振込手数料は、志願者本人の負担となります。
- 金融機関の取扱期間は、令和元年11月5日(火)から11月14日(木) [15時00分] までです。(※土・日曜日及び祝日の振込みはできません。) 第1次募集 令和2年1月7日(火)から1月16日(木) [15時00分] までです。(※土・日曜日及び祝日の振込みはできません。) 第2次募集

振込依頼書(新潟大学大学院医歯学総合研究科(博士前期課程)入学試験検定料)

黒ボールペンで記入してください(記入後修正する場合は、二重線で抹消して捺印のうえ書き直してください。)

依頼日	令和 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料(消費税込)			
振込先	第四銀行	内野支店	金額	¥ 3 0 0 0 0			
種類	普通	口座番号	(訂正不可)				
フリガナ	ニイガタ ダイガク		現金				
口座名	国立大学法人 新潟大学		手振				
整理番号			他				
フリガナ氏名			内訳				
漢字氏名							

金融機関取扱期間(期間外取扱不可)
第1次募集
令和元年11月5日(火)~令和元年11月14日(木)
第2次募集
令和2年1月7日(火)~令和2年1月16日(木)



1

電 信 扱

志願者が切り離してください

振込金及び手数料 領収書(志願者保存)

金額	¥ 3 0 0 0 0				
手数料(消費税込)					
フリガナ					
依頼人					
受取人	国立大学法人	新潟大学			
整理番号					

大学院医歯学総合研究科(博士前期課程)入学試験検定料として上記のとおり領収しました。



2

検定料納付証明書 (新潟大学提出用)

金額	¥ 3 0 0 0 0				
手数料(消費税込)					
フリガナ					
依頼人					
受取人	国立大学法人	新潟大学			
整理番号					

大学院医歯学総合研究科(博士前期課程)入学試験検定料として上記のとおり領収しました。



3

金融機関へのお願い

〇の部分(整理番号・フリガナ氏名)を必ずすべて打電してください。

「志願理由書」「研究計画書」の書き方について

「志願理由書」「研究計画書」は口述試験に際して重要な参考資料となりますので、下記の点に十分注意して記入してください。

「志願理由書」記入の留意点

「志願理由書」には、新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）を志願する動機について詳しく記入してください。

学部を卒業して受験する人は、たとえば、学部で関心があったテーマは何であり、また、それに関してどのような勉強をしてきたのか、という点を具体的に示し、この勉強をさらに発展させるために大学院進学を希望するようになった、というように記入してください。また、社会人の人は、たとえば、仕事をする中で、あるいは、社会生活を送る中で、どのような問題を深く考えるようになったのかという経緯について具体的に記入した上で、それをさらに深く考えるために大学院進学を希望するようになった、というように記入してください。また、大学院での研究が、自分の将来にとってどのように生かされるか、将来の進路とのかかわりで記述してください。

「研究計画書」記入の留意点

「研究計画書」には、「研究題目」を明記し、研究題目についての説明と研究計画・方法について、それぞれ見出しを付けて記述してください。作成の際には、以下の点に注意してください。

1)研究題目に関して

- a. 入学後、主としてどのような研究題目（テーマ）についての研究をしたいと考えているのか具体的に記入してください。

「摂食嚥下障害者のリハビリテーションについて」等のおおざっぱな表現ではなく、たとえば「摂食嚥下障害者の急性期リハビリにおける歯口清掃の効果について」とか「在宅要介護者の摂食嚥下リハビリに対するケアマネージャーの意識と取り組みの実態について」というように、何を研究しようとしているのかわかるように、できるだけ具体的に記入してください。

- b. なぜそのような研究題目にしたのかという理由を、できれば「志願理由書」と関連づけて、具体的に記入してください。たとえば、学部で〇〇について勉強するなかで、〇〇ということを知り、〇〇という目的（問題意識）から〇〇という問題について解明したいと考えるようになったため、今回の研究題目を設定したというように記入してください。

- c. また、何らかの目的があって研究題目を設定した人は、それを具体的に記入してください。たとえば、いま会社員・社会人として〇〇という仕事をしており、〇〇〇〇についてより詳しく勉強すれば、それが〇〇に役立つと思い、今回の研究題目を設定したというように記入してください。

2)研究計画・方法について

入学後の学習や研究を進めるにあたってのスケジュール,学習の順序,研究の進め方など,できるだけ具体的に記入してください。

もちろん,実際は入学後,教員の指導で計画・方法はかなり異なるものになることは十分予想されます。しかし,ここでは,あなたが現時点で考えている計画・方法を書いてください。

たとえば,大学院の1年次の前半では〇〇に関する代表的な学説や論文について学習し,1年次の後半では,〇〇(施設)の〇〇を対象者に〇〇に関する予備調査を行い……,というように,大まかなスケジュールを示した上で,それぞれの段階でどのように研究を進めていくのか,可能な限り具体的に記入してください。

また,研究によってどのような成果が得られると考えているのか,あるいはこうした成果が上げられたらよいという抱負等がありましたら,「研究により期待される成果」として別に見出しを付けて記入してください。

志 望 理 由 書

受験番号

※

フリガナ
氏 名

「志望理由書・研究計画書の書き方について」にしたがって作成してください。パソコン等で作成したものを本用紙に貼付しても構いません。

研究計画書

(2枚の1)

受験番号

※

フリガナ
氏名

「志望理由書・研究計画書の書き方について」にしたがって作成してください。パソコン等で作成したものを本用紙に貼付しても構いません。

研究題目

(社会人特別入試用)

令和 年 月 日

新潟大学大学院医歯学総合研究科長 殿

所属長

(職名)

氏名

印

受験承諾書

下記の者が新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）の入学試験を受験することを承諾いたします。

記

氏名

募集区分	<input type="checkbox"/> 第1次募集	<input type="checkbox"/> 一般入試
	<input type="checkbox"/> 第2次募集	<input type="checkbox"/> 社会人特別入試

(いずれかをチェックしてください)

令和2年度
新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻（博士前期課程）
出願資格認定申請書

フリガナ氏名	19 年 月 日生		性別 男・女	国籍	
連絡場所	現住所	〒 電話 () -			
学 歴					
区 分	学 校 名	学校所在国名	規定の修業年限	入学及び卒業(修了)年月	
初等教育(小学校)			年	入学 年 月 卒業 年 月	
中等教育(中学校)			年	入学 年 月 卒業 年 月	
中等教育(高校)			年	入学 年 月 卒業 年 月	
高等教育(大学)			年	入学 年 月 卒業 年 月	
高等教育(大学院)			年	入学 年 月 卒業 年 月	
			年	入学 年 月 卒業 年 月	
研 究 歴	期 間	大学又は研究機関等名称		在籍身分	備 考
	年 月から				
	年 月まで				
	年 月から				
	年 月まで				

研究 歴	年 月から		
	年 月まで		
	年 月から		
	年 月まで		
勤務先等を書いてください			
職	年 月から		
	年 月まで		
歴	年 月から		
	年 月まで		
等	年 月から		
	年 月まで		
	年 月から		
	年 月まで		
以上のおおりに相違ありません。			
			署名 ㊟
20 年 月 日			

- (注) 1. 受験時までの履歴（学歴，研究歴，職歴等）をもれなく記入してください。
2. 研究歴については，大学卒業後，日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生，研究員等として研究に従事した場合，その経歴を記入してください。
3. 自宅学習又は日本語学校での学習も，学歴等の欄にもれなく記入してください。
4. 学校名，勤務先等は，すべて正式な名称で記入し，一切省略しないでください。
5. 事実を隠したり，偽りを記入すると入学後でも入学を取り消すことがあります。

研究業績調書

氏名 _____

著書・学術論文等の名称	発行又は発表の年月日	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者名及び共同発表者名

(注) 学術論文等は，別刷又は写を添付してください。

新潟大学大学院医歯学総合研究科

研究経過報告書

氏名 _____

研究題名



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。